

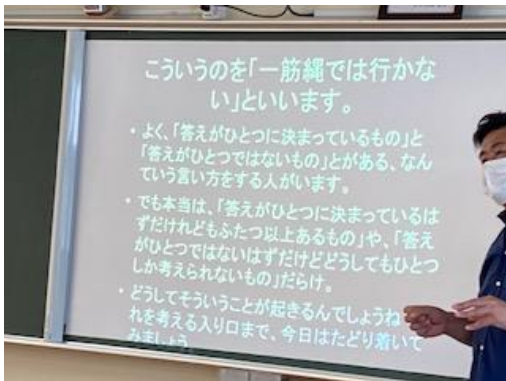


高き理想

『出前講座』を実施しました。対象は1年次生徒。

7月28日（木）猛暑日に迫るような暑い日差しの中、「山形大学」と「山形県立保健医療大学」から14名の先生にお越しいただき、本校1年次生を対象に『出前講座』を実施しました。その企画運営にあたっては「大学コンソーシアムやまがた」の方々に様々な面でご支援をいただきました。

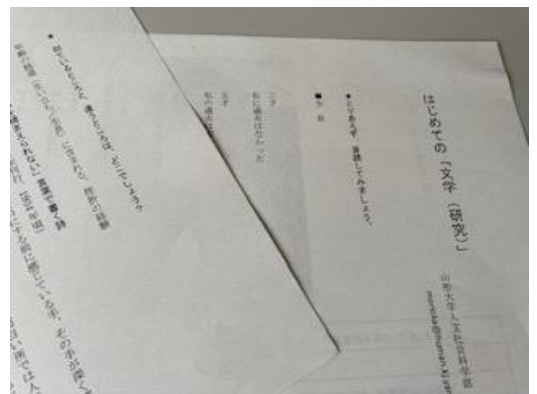
コロナ禍にある現在、対面でのこういった事業はなかなか実施しづらい環境ですが、今回は感染対策を施しながらすべての講座を対面で実施することができました。



理系文系の分野でそれぞれ7講座開講し、すべての生徒が両分野の講座を受講しました。その講座内容からいくつか紹介します。

理系分野では、Rehabilitationと作業療法の関係を概説し作業療法の基礎となる「作業 Occupation」を人と作業と環境の関連から解説した『リハビリテーションと作業療法』。人狼ゲームをプレイする人工知能の実現を目指す人狼知能プロジェクトについて紹介した『人狼知能』。

文系分野では、文化人類学における考え方や様々な事例に触れることによって、自分とは異なる考え方やものの見方をする人々の存在に気付き、これまで自分が当たり前と考えていたことを疑う姿勢を身に付けるきっかけ作りを紹介した『文化人類学：自分の「当たり前」を疑ってみる』。教科書にもよく登場する谷川俊太郎の作品を題材にして、大学で文学を研究するというのとはどういうことかを紹介した『はじめての「文学研究」－谷川俊太郎の詩を研究してみよう』などです。



多種多様な学問に触れることができた貴重な経験から、生徒たちは新たな気づきや学びの深まりを実感できたのではないかと思います。

今回の出前講座にかかわった多くの方々に、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。